

令和7年度 奈良県支部の活動報告

日本赤十字社奈良県支部は、令和7年1月に創立130周年を迎えました。これもひとえに、赤十字事業に深いご理解とご支援をいただきました賜物と心より感謝申し上げます。

また、日本赤十字社は令和9年5月に創立150周年を迎えます。その第一歩として、大阪・関西万博に「国際赤十字・赤新月運動」パビリオンを出展し、多くの方にご来場いただき、赤十字運動への理解と共感を広めることができました。

令和7年度も、皆さまからいただいた温かいご支援により、赤十字活動をおこないましたので、昨年度の活動をご報告いたします。

支部創立130周年記念事業

これまで奈良県支部の活動を支えていただいた方々へ、感謝の意を伝えるため、様々な記念事業を実施しました。

□ モザイクアート

過去から現在までの支部にまつわる写真を使用し、記念ロゴと赤十字マークのモザイクアートを作成し、支部の歴史を知っていただく機会としました。

□ お便りリレー

赤十字関係者に毎月、インタビューをおこない、赤十字を知ったきっかけや体験談などをお聞きするお便りリレーを実施しました。

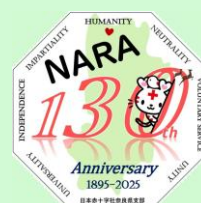
(毎月のお便りリレー記事は支部ホームページをご覧ください。)

□ 救急法を知ろう～高校生を対象とした救急法短期講習会～

若年層への講習普及として、高校生を対象とした救急法短期講習会を開催しました。講習のほか、献血セミナーや血液センター見学も実施し、18人の高校生に参加していただきました。

□ 奉仕団交流会

地域奉仕団、特殊奉仕団、青少年赤十字指導者などのお互いの「つながり」を深めるため、奉仕団交流会を開催しました。災害時などの活動には、奉仕団同士の「つながり」が大きな力になるため、奉仕団同士が連携し、協力できる体制づくりに取り組みました。



▲記念ロゴ



▲救急法を知ろう



▲奉仕団交流会

大阪・関西万博 パビリオン出展

184日に及ぶ大阪・関西万博での赤十字パビリオン出展では、31万人を超える来場者が訪れ人道の輪を広めることができました。運営には職員やボランティアがスタッフとして協力しました。また、県有功会主催の日帰り研修で、32人の有功会員が赤十字パビリオンを視察しました。



▲運営スタッフ



▲県有功会日帰り研修



いつどこで起こるか分からない災害に備え、関係機関とも連携して迅速・的確な救護活動ができるよう、救護班の編成と、訓練や研修の実施、救護資機材の整備を重点的におこない、救護体制の充実強化に取り組みました。

□ 救護訓練

大規模災害に備え、第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練(大阪府)、近畿府県合同災害救護訓練(三宅町)など救護訓練に参加しました。

□ 救護体制強化のための研修

災害救護に必要となる最新の知識と技術の向上を図るため様々な研修会を開催しました。また、災害時に支部職員が災害対策本部をスムーズかつ効果的に運営できるよう災害対策本部要員研修や救護資機材習熟研修に取り組みました。

□ 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備をおこないました。
また、県内で起こる小規模災害に対し、毛布、布団、バスタオル、緊急セットなどの救援物資を配布しました。

□ 国内義援金の受付

国内で発生した災害に対して義援金の受付をおこない、被災者へお届けしました。
皆様からの温かいご支援に感謝申し上げます。



▲避難所アセスメント



▲救護資機材習熟研修



「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、赤十字講習を実施しました。令和7年度は、県内各地で303回開催し、延べ8,705の方に受講いただきました。

□ 地区区分と共催による地域での講習会

県内全体での講習普及を目的に、地区区分と共催による地域での講習に取り組みました。大和高田市地区、斑鳩町区分、明日香村区分で開催し、33の方に受講いただきました。

□ 金色有功章受章企業を対象とした講習会

金色有功章^{※1}を受章した企業対象の無料体験講座を、株式会社みやま様で実施していただき、121の方に受講いただきました。

^{※1} 金色有功章受章企業:活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた企業

□ 防災・減災のための講習会

地域防災力の向上を目指して、自治会などの自主防災組織や法人、学校など県内各地域で防災・減災講習を開催しました。

□ 救急法等の講習会

いざという時にすぐに役に立つ知識と技術を広く普及するため、様々な講習会を開催しました。



▲救急法講習



▲健康生活支援講習

国際活動の推進 -世界とつながる-

決算額 1,772 千円
(決算書:歳出③)



世界 191 の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動をおこないました。

□ 支部の国際活動への参加

バングラデシュ保健医療支援事業に資金協力をしました。

また、日本赤十字社気候変動対応事業の現地調査として、ジブチ共和国へ職員を派遣しました。支部初の国際活動による海外派遣となりました。



▲ジブチ共和国へ職員を派遣

青少年赤十字の育成 -思いやりを育む-

決算額 7,489 千円
(決算書:歳出②)



将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

□ 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校の特色のある活動に対して、助成金を交付しました。

(奈良市立飛鳥小学校、大和郡山市立筒井幼稚園、下市あきつ学園:

1校当たり 30,000 円上限)

□ 青少年赤十字国際交流事業

パキスタン青少年赤新月メンバー 2 人をお迎えし、5 日間の交流を通してお互いの文化や歴史を学び、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」を深めることができました。



▲青少年赤十字国際交流事業

□ 親子で学ぶぼうさい教室

いざ災害が起きてもあわてずに対応できるよう、おうちの危険な場所の確認や、身近にあるラップやビニール袋を使った応急手当などを学ぶぼうさい教室を開催しました。夏休み・冬休みの 2 回開催し、21 人の親子に参加いただきました。



▲親子で学ぶぼうさい教室

赤十字ボランティアの育成 -活動を支える-

決算額 12,940 千円
(決算書:歳出②)



「困っている・苦しんでいる人の役に立ちたい」という思いを持った仲間が、その思いを結集し、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に取り組みました。

奈良県支部では、団員の知識、技術向上のための研修や、活動の一助となる助成金を交付し、活動を支援しました。



▲地域奉仕団
~防災訓練での炊き出し~



▲安全法指導奉仕団
~講習会での指導~



▲無線・救護奉仕団
~救護訓練での無線通信~

令和7年度 一般会計決算書

(歳入)

(単位：円)

区 分	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	前年度増減	付 記
① 会費収入	323,800,000	312,508,486	132,710,331	179,798,155	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金
② 委託金等収入	0	0	6,480,420	△ 6,480,420	
③ 補助金及び 交付金収入	11,567,000	9,311,795	6,665,733	2,646,062	本社からの交付金
④ 繰入金収入	19,300,000	14,728,912	19,000,000	△ 4,271,088	災害等資金繰入 国際救護活動資金繰入
⑤ 資産収入	100,000	483,740	1,841,170	△ 1,357,430	支部災害救援車売却
⑥ 雑収入	5,833,000	5,118,358	3,847,647	1,270,711	講師派遣収入、講習用教材費収入等
⑦ 前年度繰越金	25,000,000	42,772,917	41,806,072	966,845	前年度繰越金
収 入 合 計	385,600,000	384,924,208	212,351,373	172,572,835	

(歳出)

(単位：円)

区 分	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	前年度増減	付 記
① 災害救護事業費	53,250,000	33,747,097	36,453,918	△ 2,706,821	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等
② 社会活動費	38,180,000	28,936,199	25,713,042	3,223,157	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費
③ 国際活動費	1,900,000	1,772,264	1,030,943	741,321	バングラデシュ保健医療支援事業
④ 指定事業 地方振興費	3,800,000	3,728,912	3,000,000	728,912	災害救護資機材整備費
⑤ 地区分区 交付金支出	14,110,000	9,025,746	9,250,207	△ 224,461	地区分区(市町村)における赤十字活動費
⑥ 社業振興費	38,990,000	34,922,969	35,268,015	△ 345,046	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費
⑦ 積立金支出	157,000,000	146,972,446	14,771,206	132,201,240	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金
⑧ 総務管理費	28,310,000	23,675,449	24,294,141	△ 618,692	支部の事業管理運営費
⑨ 資産取得及び 資産管理費	1,160,000	1,020,165	1,090,435	△ 70,270	施設管理費
⑩ 本社送納金支出	45,900,000	45,116,936	18,706,549	26,410,387	本社への送納金
⑪ 予備費	3,000,000	0	0	0	その他
支 出 合 計	385,600,000	328,918,183	169,578,456	159,339,727	

次年度繰越金 56,006,025円